



ご購入ありがとうございます

7月22日(木)

発行所 長野日報社

〒392-8611 諏訪市高島3 ☎0266-52-2000(代)

©長野日報社2021

自作の車体で速さ競う

駒工 情報技術科3年 自走ロボット大会

駒ヶ根工業高校(駒ヶ根市)の情報技術科3年J組の生徒39人は21日、自作した自走ロボットの速さを競う大会を同校で開いた。コースの白線をセンサーで感知しながら走るロボットの性能を競う恒例の大会。学んだ知識を生かして製作したマシンでレースに臨み、学習の成果を披露した。(堀木俊典)

自ら考える探究学習として、グラミングを行い、それぞれ実施している自走ロボット製作のアイデアを反映した個性豊かなマシンに仕上げた。学習を生かして車体設計、板金加工、制御基板製作、制御プログラムの集大成となる大会も授業の一環として生徒自身が企画、

運営した。

競技は急カーブやジグザク走行などの区間を設けた1周約25分のコースで実施。2台ずつ走行し、予選と上位8台による決勝トーナメントで順位を競った。同じ素材を使用している内容によって性能の差は歴然。上位が50秒前後でゴールする中、逆走やコースアウトで



自作マシンの性能を競った駒ヶ根工業高校3年J組の自走ロボット大会

時間を大きくロスするマシンもあった。予選で45秒64の好タイムを記録した箕浦大輝さん(18)は「車体の形がうまく仕上がった。カーブをスムーズに通過できたのが良かった」とレースを振り返り、結果に手応えを感じていた。